

≫≫ご自由にお持ちください≪≪

花と緑の情報をお届けします。

Green グリーンスケッチ Sketch

2006
autumn

32

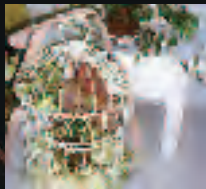
特集

感じよう! 緑の力

「園芸福祉の今」



植物に親しむ
 hidroカルチャーに
挑戦!



にいがた四季の散歩道
会津藩陣屋跡の【魚沼市】
トチノキ
花と緑のイベント情報
緑花センター掲示板
読者の広場

煌 めく 静 けさ 。

新緑の季節
新緑



新緑の季節
新緑



にいがた「緑」の
百年物語に
参加しています。

Q 切花用に、我が家の庭にシャクヤクを植えたいと思います。適期と植え方を教えてください。

A シャクヤクの植えつけの適期は、9月下旬から10月初旬です。この時期に植えると年内に新しい根が伸びよく根づきます。

苗の購入 根がしっかりしていて充実した芽のついた株を選びます。
※春には、花のついた苗も流通します。

植えつけ 日当たりの良いところに直径・深さともに30～40cmの穴を掘り、元肥としてバケツの半分くらいの腐葉土（あるいは堆肥）と化成肥料二握りを入れ、穴の半分くらいまでの土と混ぜておきます。その上に土をもり（根に元肥が触れないように）、芽が3～5cm隠れる深さに根を広げて植えつけます。鉢で育てることもできますが、地植えほど長く生きることができません。大きめの鉢（8～10号）に植えて、2～4年に1回植え替え（株分け）をします。鉢植えの用土の配合例は、赤玉5：腐葉土3：川砂2（元肥例：マグアンプKを一鉢に10g）。

株分け 地植えの場合も4～6年に一度掘り上げ、株分けをします。新しい芽を3～4個ずつつけて株を分け、上記の要領で植えつけます。分ける際に、はさみなどをつかわずに手で大きく分けるようにするのが一般的です。

管理 夏は、水をあげ過ぎないようにし、50%程度の遮光をして栽培します。多肥を好むので、新芽が出たころ、花が終わったあと（礼肥）、元気な葉が残っている秋口、寒肥として1月ごろに肥料を施します（固形の緩効性肥料など）。

花が咲くのは5月下旬から6月。切花では水あげがやや悪いとされ、固いうちに切るとつぼみが開かないことがあります。つぼみが色づいたころが切る適期です。その際、地際から切らずに、下の葉を2～3枚残しておくと、株の成長を助けます。

ただし、植えつけて1年目は花を咲かせずにつぼみをつみ、株を充実させましょう。



シャクヤク（写真は‘氷点’）

ポタン科ポタン属の宿根草。園芸品種が多数つくられており、花形の変化はポタンより多彩です。同じ属のポタンは落葉低木で、冬に葉を落とし幹が残るのに対し、シャクヤクは地上部が枯れてなくなります。

「お悩み相談室」は、読者の方から当センターに寄せられた相談にお答えするコーナーです。家庭での園芸に関する疑問などをお寄せください。

特集

感じよう！

緑

力ちからの

「園芸福祉の今」



私たち人間と*緑とのかわりは、切っても切れないものとして続いています。農作物(食べもの、衣料品、住居、薬用)としての利用はもちろん、庭園、盆栽、生け花や、和歌や文学作品の題材、芸術品の模様などにつかわれるなど暮らしにとり入れられてきました。身近におくことで、心がやすまり、リラックスできる緑。人々は、古くからその力を感じていたのでしょうか？緑の力は現代もさまざまなかたちで利用され、その効用を実証するための研究も行われています。今号では、「園芸福祉」という分野を紹介し、緑がもつ可能性をあらためて見つめたいと思います。

*緑：草や木など、広く植物一般を表すことばとしてつかわれています。



全国花いっぱい長岡大会



春の新潟県都市緑花フェア

園芸福祉活動イベント出展の様子

感じよう！

緑のちから

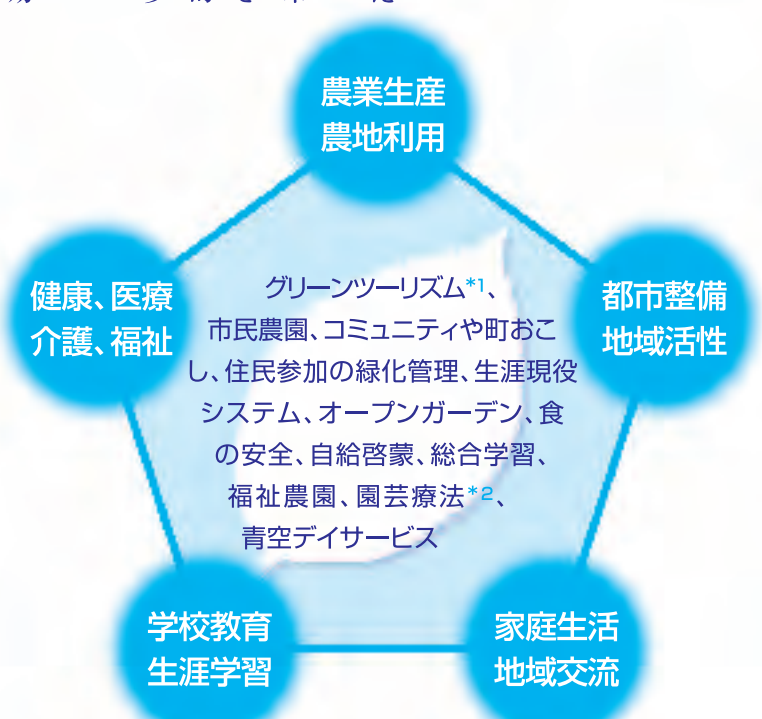
「園芸福祉の今」

園芸福祉活動とは

「園芸福祉」ということばを聞いたことがありますか？

「園芸」と「福祉」、それぞれの意味はわかるけど、これらをつなげてできている園芸福祉の活動とは、具体的にどういうこと？と思われる方も多いでしょう。実際、園芸福祉の分野は、たいへん広い範囲にわたっているのです。まず、園芸作業には、どのような効果があるのか挙げてみます。

- 1 **生産的効用**
栽培での達成感や自信、意欲をもたらす
- 2 **経済的効用**
自給や生産・販売での経済的利益をもたらす
- 3 **環境的効用**
地域の環境条件を快適にする
- 4 **心理的・生理的効用**
五感を通して心の充足が得られる



- 5 **社会的効用**
植物を通じた活動で人間関係が円滑になる
 - 6 **教育的効用**
「育てる」ことで多面的効果を得られる
 - 7 **身体的効用**
疾病予防的側面と運動機能的側面がある
 - 8 **精神的効用**
働きがいや生きがいを生む
- 園芸福祉は、これらの効用を利用して、治療やリハビリを含めた心身の

健康、心のゆとりや豊かさなど生活の質の向上、人間的成長を増進しようというものです。では、どのような場で利用されるのでしょうか？

現在、実践されている活動は、高齢者・障害者・医療関連施設での協働作業・介護作業が半数を超え、花壇・公園交流、教育関連、農地・農業交流、生涯現役支援がそれぞれ10%前後で続きます。

地域に暮らす誰もが参加できる、植物を通じた活動として、今後、右図

に示すようなさまざまな分野での展開が期待されます。

資格制度

特定非営利活動法人日本園芸福祉普及協会は、活動を普及するための人材育成を目的に、「初級園芸福祉士」の資格制度を設けています。各地で、活動に必要なと思われる一般的な知識や実践ノウハウを修得し、地域に根付かせていく役割を担える人材の養成を目的とした「初級園芸福祉士養成講座」を開催しています。平成17年度までに、全国で約二千名の「初級園芸福祉士」が資格登録されています。

新潟県では、平成16年から養成講座が開催され、現在百名が認定されています。資格登録者は全国8位であり、活動がさかんな県といえます。



◀ 昨年度の初級園芸福祉士養成講座の様子

新潟県における 動き

園芸福祉の分野では、各都道府県独自の事務局が活動の中心となっています。新潟県では、今年7月に事務局にあたる組織「園芸福祉にいがた」の設立準備会が立ち上がり、今後の運営について、ワークショップ形式で討議されています。

登録された園芸福祉士の中には、個人で、あるいは所属している場所ですら資格を活かしてすでに活動している方だけでなく行動に移していない方もいらっしゃるようですが、「園芸福祉にいがた」の設立により、園芸福祉士同士の交流はもろろん、公的機

関や地域団体との連携が図られ、それぞれの活動の場が広がっていくことが期待されます。

緑花センターとの かかわり

当センターでは、今年度より「園芸福祉活動支援」を事業として立ち上げました。

他県では、当センターのような団体が、管理する公園などを園芸福祉士の活動の場として提供している例や、園芸福祉士をサポートとして登録し、団体や福祉施設などに派遣する制度などの連携が見られます。今年度、当センターで管理している

県立鳥屋野湯公園で初級園芸福祉士養成講座の開催を予定しています。後期講座(9月開催)では、園地をつかってモデルガーデンづくりが行われます^{*3}。

今後、「園芸福祉にいがた」と連携をとりながら、園芸福祉分野に対して何ができるか、また、何を求められているかを検討していきます。将来的には、講座開催のお手伝いに限らず、公園を「園芸福祉士」のみさんの活動の場として提供していければ、と考えています。また、この情報誌でも取材を続け、さまざまな活動を紹介していきたいと思えます。

(写真提供/畑やかとうふぁーむ)(参考「園芸福祉のすすめ」創森社)

畑や かとうふぁーむの農業体験

新潟市(旧巻町)にある畑や かとうふぁーむでは、一般の方々に畑に招き、農業体験を進めています。



落花生の収穫



大根の収穫

●園芸福祉 詳細・連絡先はこちら……………

特定非営利活動法人 日本園芸福祉普及協会
<http://www.engeifukushi.com/>
 園芸福祉にいがた(加藤) TEL 090-6686-5167

*3 受講者がつくった庭を来園者のみなさんにもご覧いただけます。県立鳥屋野湯公園内新潟県スポーツ公園レストハウス付近の遊具のある広場のむかいです。お立ち寄りの際はぜひご覧ください(9月下旬より1ヶ月公開予定)。

園芸福祉の分野は比較的新しいながらも、その可能性の高さからさまざまな方向に展開が期待され、着実に普及しています。「園芸」と「福祉」。両方からのアプローチがあり、互いに高めあって融合し、さらなる発展が期待できます。

園芸福祉の普及により、「緑の力」がさまざまなところで発揮されることを願っています。



植物に親しむ

このコーナーでは、私たちの暮らしに彩りやうるおいを与えてくれる植物と、四季を通じてふれあう生活を提案していきます。お部屋やお庭で、植物とともに季節の演出を楽しみましょう。

ハイドロカルチャーに挑戦!



今回は、赤い葉の植物を入れて秋の雰囲気演出するとともに、小さなバードケージをつかってヘデラの魅力をひき出しています。

ハイドロカルチャーとは、土をつかわずに植物を育てる栽培方法です。植えこみ材料に、ハイドロボール(レカトン)と呼ばれる石をつかいます。清潔で、水管理もかんたん! ぜひ試してみてください。

今回は、シンゴニウムとヘデラ、ワイヤープランツとヘデラの組み合わせで寄せ植えています。

用意するもの

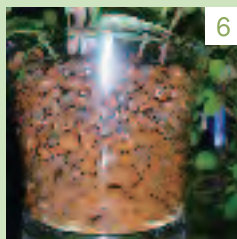


- ハイドロボール
中粒と小粒(ざるにあげて洗っておく)
- イオン交換樹脂
- 器
透明のもの(高さ7cmくらい)
- 植物
ヘデラ(左下)、シンゴニウム「ネオン」(左上)、ワイヤープランツ(右)



ハイドロボール: 粘土質の水成岩を1,000℃以上の高温で焼いてつくった「発泡煉石」。水洗いして何度でもつかえます。大・中・小粒などがあり、植物や器の大きさによって選びます。イオン交換樹脂: 土の中の微生物のかわりに植物の老廃物を吸収します。

- 1 根についた土を良く落として根を傷つけないように静かに洗い、根を3cmほど(小苗の場合)に切りつめます(*1)。
- 2 器の底が埋まるくらいイオン交換樹脂を敷きます。
- 3 中粒のハイドロボールを器の3分の1まで入れます。
- 4 根を広げて植物を置き、小粒のハイドロボールで根の間を埋めます。
- 5 配置を見ながら、植物が安定するように小粒のハイドロボールをつめます。
- 6 器の4分の1くらい水をそそぎます。活着するまで(2~3週間)は、あたたかい日陰に静かに置いておきます。



(*1) 植える前に1週間ほど水栽培して、根を出させておくのがおすすめ。

つくりかた

水管理

根腐れを予防するイオン交換樹脂は3~4ヶ月に1度新しくしましょう。根の酸素不足を避けるため、水は、なくなつてから器の4分の1くらいまで入れます。冬場はさらに控えめに。透明な器でないときは水位計が便利。



水位計

肥料

ハイドロカルチャー専用の肥料を春と秋に1回ずつ与えます。与えすぎに注意。

洗浄

半年に1度、器からすべて出し、ハイドロボールや植物の根をよく洗い、悪くなった根は切り取ります。

置き場所

直射日光は避け、明るく風通しのよい所へ置いてください。冬は、冷えずすぎないところが良いでしょう。

植えつけ 植え替えの時期

最低気温が15℃以下になると植え傷みするので、あたたかいうちが無難です。

会津藩陣屋跡の

トチノキ 「魚沼市」

魚沼市(旧小出町)のまちのなかにどっしりと立っているトチノキ。

この木がある場所は、かつて、戊辰戦争の時代に、会津藩の陣屋があったところです。

戊辰戦争は、幕末、新政府が旧幕府勢力を一掃した内戦です。旧幕府側は、越後の小出島と小千谷に陣屋(軍隊が宿営しているところ)をおき、新政府軍の侵入に備えました。しかし、新政府軍はこれを撃破し小千谷を占領、長岡城に攻め入り陥落させます。今では住宅街になっていますが、百二十年ほど前には戦場だったのですね。

このトチノキは、推定樹齢が三百年なので、この内戦よりさらに古くからこの場所にあったのでしょうか。眺めていると、老木が見つめてきた時間の流れを感じさせられます。

この地区には、ほかにも会津藩戦死者を埋葬した墓地や、鉄砲の弾の跡が残る樹木もある

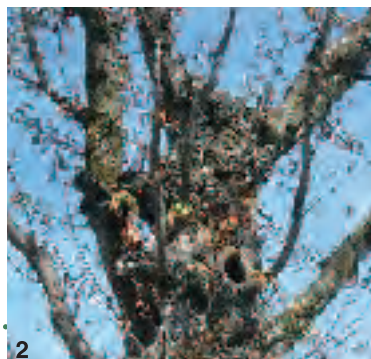
そうです。この木は夏を越してすこし疲れたのか、残念ながら今年も黄葉せずに葉を落としてしまったようですが、歴史を感じながら散歩してみたいかがでしょうか。

●トチノキ (トチノキ科トチノキ属 落葉高木)

北海道(北部を除く)、本州、四国、九州に分布。

日本の樹木で大きく育つもののひとつ。公園や街路樹に利用されます。5〜6月に咲く花にはミツバチが良く訪れ、養蜂にも有用とされました。材として用途が広く特に大木が重用され、種子が食用されることから、伐

- 樹 高：17m
- 幹周り：5m
- 樹 齢：推定300年
- 所在地：魚沼市諏訪町



「グリーンスケッチ」秋・冬号では、当センターが行った調査(※)をもとに、新潟県内各地の名木・巨木・樹林地を紹介していきます。今号では、まちの歴史を見つめてきた老木を紹介いたします。

※平成13年度に、県内市町村に協力をいただいて行った調査。調査対象は「未来に残したい樹木」「地域で愛されている樹木」で、国・県・市町村の文化財指定を受けていないもの。

採をまぬがれて大きく育ったものもある一方、針葉樹の造林にともなって減少した樹木でもあります。実は9月ごろに熟し、種子がトチ餅などにつかわれます。食用にする場合、手の込んだ渋抜きが必要。4cmほどで重みがあり、街路樹では、車に落ちて傷をつけるなどの問題も発生しています。

ヨーロッパで街路樹としてよくつかわれるのは、同じ属のセイヨウトチノキ(マロニエ)です。

参考文献
「山深カラ」名鑑 日本樹木
山と溪谷社 1985年

- 1 辞世の歌が刻まれた石碑がそえられています。夏の暑さで一足早く落葉している様子。
- 2 幹の空洞(樹洞)や枝の欠損が見られます。

県内で開催されるイベントをご紹介します

花と緑の イベント情報

緑花センターで管理運営している公園で行われるイベント情報です。
みなさんでぜひお出かけください。

秋の公園イベント

10/7 [土] ~ 9 [月・祝]

秋の植物園まつり

花と緑の体験教室、寄せ植えコンテストやバックヤードツアーを行います。植物販売や飲食コーナーも。また、公園管理シンポジウム（詳しくは9ページをご覧ください）、写真コンテスト表彰式、花いっぱいコンクール表彰式を行います。

場 所 新潟県立植物園
〒956-0845 新潟市金津186

お問合せ 県立植物園
TEL.0250-24-6465

10/21 [土] 22 [日]

ビッグスワンフェスタ

スタジアムを無料開放し、さまざまなスポーツイベントを行います。

場 所 新潟スタジアム（新潟県立鳥屋野潟公園）
〒950-0933 新潟市清五郎68

お問合せ 新潟スタジアム事務所
TEL.025-287-8811

鳥屋野潟公園まつり

花と緑の体験教室やミニコンサート、植物の販売を行います。記念植樹、飲食コーナーもありますのでぜひお越しください。

場 所 新潟県スポーツ公園（新潟県立鳥屋野潟公園）

お問合せ 鳥屋野潟公園事務所
TEL.025-286-1080

10/14 [土]

大潟水と森公園 よろず塾「そば打ち体験教室」

本格手打ちそばをつくります。
参加費500円、定員20名。
申し込みは10月4日から。

場 所 新潟県立大潟水と森公園
〒949-3103 上越市大潟区潟町1381

お問合せ 大潟水と森公園事務所
TEL.025-534-6190

10/15 [日]

産業まつり

食をテーマにしたイベントが行われます。
飲食コーナー、農産物販売など。

場 所 新潟県立紫雲寺記念公園
〒957-0231 新発田市藤塚浜

お問合せ 新発田市産業振興部農林水産課
TEL.0254-22-3101(代)



niigata event map 秋

佐渡

紅葉山まつり

佐渡市畑野地区 秋葉山公園
10月中旬
モミジ見頃：11月上旬～11月下旬
佐渡市畑野支所 地域振興課
0259-66-3111(代)

佐渡菊花展・金井温泉菊まつり・ 花の文化展

佐渡市金井地区 金井温泉体育館
11月3日(祝)～11月5日(日)
佐渡市金井地区 商工観光課
0259-63-5116

中越

アルプの里紅葉まつり

湯沢町 湯沢高原アルプの里
10月7日(土)～10月9日(祝)
10月28日(土)～10月29日(日)
湯沢温泉ロープウェイ事業部
025-784-3326

秋山郷 紅葉まつり

津南町 津南町結束地区
「萌木の里」周辺
10月21日(土)～10月22日(日)
モミジ見頃：10月下旬～11月上旬
萌木の里 025-767-2000

魚沼菊花展・浦佐菊まつり

南魚沼市 普光寺
10月31日(火)～11月10日(金)
大和町観光協会 025-777-3054

もみじ園ライトアップ

長岡市 もみじ園
11月1日(水)～11月下旬
モミジ見頃：11月上旬～11月中旬
長岡市越路支所 産業課
0258-92-5903

もみじ園茶席

長岡市 もみじ園巴ヶ丘山荘
11月11日(土)～12日(日)
長岡市越路支所 産業課
0258-92-5903

上越

妙高山紅葉まつり

妙高市 妙高原温泉郷
10月中旬
妙高市観光協会 0255-86-3911

上越菊まつり

上越市 浄興寺
11月3日(祝)～11月11日(土)
上越市観光振興課 025-526-5111

下越

石油の里もみじまつり

新潟市 石油の里
10月下旬～11月中旬
新潟市新津支局 農・産業振興課
0250-24-2111(代)

新津菊まつり

新潟市 堀出神社
11月1日(水)～11月15日(水)
新潟市新津支局 農・産業振興課
0250-24-2111(代)

新潟菊まつり

新潟市 万代シティパーク
11月上旬
新潟菊花会事務局 025-246-6429

弥彦菊まつり

弥彦村 弥彦神社
11月1日(水)～11月24日(金)
モミジ見頃：11月上旬～11月中旬
弥彦観光協会 0256-94-3154

白根菊花展覧会

新潟市白根 白根神社
11月1日(水)～11月5日(日)
白根支所商工観光課 025-372-2111

第三回加茂菊花展

加茂市 冬鳥越スキーガーデン
11月5日(日)～11月26日(日)
加茂市商工観光課 0256-52-0080

寒梅まつり

新潟市小須戸 花と緑のシンボルゾーン
12月8日(金)～12月24日(日) ※予定
新潟市小須戸支所 産業課
0250-38-3111

※ 日程などは変更になる場合がありますので、詳しくは各お問い合わせ先にご確認ください。 ※ 緑や花に関するイベント情報を、FAX、メールにてお寄せください。

植物クイズ

6ページで登場したトチノキのなかま、セイヨウトチノキの別名はマロニエ。
マロニエ(フランス語)の意味は次のうちどれでしょう？

①くるみ ②くり ③ぶどう

- 答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入ください。
- 正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。
- クイズのめ切は10月20日(必着)です。
- クイズの答えと当選者は次号(11月発行予定)に掲載します。

31号植物クイズ当選者発表

正解は②でした。①はクロッカス、③はコマツナの芽です。
当選者は以下の方々です。おめでとうございます。

大島希味子 さん 南魚沼市 反町久美与 さん 長岡市 富樫 一枝 さん 新発田市
高橋 晴美 さん 小千谷市 佐藤伊紀子 さん 新潟市



緑花センター 掲示板

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や 緑花センターが管理運営している県立公園などの情報をお届けします。

News ●開催日●平成18年10月7日(土)午後

第2回公園管理シンポジウムを開催します

都市公園の利用や管理について、地域のみなさんとともに考えるシンポジウムを開催します。

内容

公園におけるボランティアの活用

場所

新潟県立植物園 花と緑の情報センター
2階 研修室 新潟市金津186

参加費

無料
どなたでも参加いただけます。
興味のある方、ぜひお越しください。

お問い合わせ

緑花センター事務局
TEL.025-257-8711



第1回公園管理シンポジウムの様子(平成16年10月31日 新潟県立鳥屋野潟公園)

「まちぐるみ 花と緑に流す汗」

(平成17年度「緑・花の標語コンクール」最優秀賞作品)

まちの中の緑をまもり、育てるためには、一人ひとりが花や緑を育むことはもちろん、地域が一つになって協力し合うことが大切です。この標語には、その大切さと、花と緑を介しても汗を流すことで人と人のつながりを深めることができることもこめられています(五泉市 佐野 實さんの作品)。

Report ●開催日●平成18年7月30日(日)

「新潟県スポーツ公園 園内清掃」を行いました

新潟県スポーツ公園で、普段から公園を利用されているみなさんとともに園内清掃を行いました。

スポーツ公園は、新潟スタジアムを擁し、県内外から来園者が訪れる場所。この公園をきれいに保ち、訪れた人を迎えようと、夏らしく暑くなったこの日、20名のみなさんが参加くださいました。

「タバコの吸殻が多いですね」「このあたりは結構たくさん落ちていますね」などと話しながら、およそ1時間、ゴミ拾いの作業を行いました。

次回は、秋を予定しています。「ゴミを捨てない、捨てさせない環境づくり」を目指し、これからも地域のみなさんと取り組んでいきたいと考えています。



集まってきたみなさん、
どうもありがとうございました

作業の様子



「感じよう!緑の力」がよかったです。私は最近「農業体験」をしたので、この記事にあるように、とても心が豊かになりました。あの田舎のにおいがとても心地良いです。

●7月6日アンケートより ●新潟市 橋本さん

私も去年くらいから花に関心を持つようになり、押し花とドライフラワーに挑戦してみました。花を見て、触れていると、心に栄養が行くような気がし、ずっとずっと花にふれる生活を送ろう!と今回の「緑の力」を読んで思いました。

●6月7日アンケートより ●上越市 小泉さん

今年度の特集は、「感じよう!緑の力」をテーマにしています。みなさんがさまざまなところでその力を感じているようですね。緑とのふれあいをもっともっと楽しめるような情報誌をつくってこうと考えています。

ドライブの途中で道路沿いに花が植えてありますと、気持ちが和みます。我が家でも、自宅前に花を植え、区でも花壇をつくっています。

●6月13日アンケートより ●長岡市 五十嵐さん

いろいろなところで花に出会うとうれしくなりますよね。五十嵐さんの植えた花も、通りかかる人々の目を楽しませてくれていると思います。

ミントを植えて歩くたびに香ったらどれ程幸せか、と思い、数年前に我が家の猫の額ほどの庭に一握り程のミントの苗を植えました。ものすごい生命力で、ミント以外何も育たない庭になって、あわてて刈り取りました。

●6月15日アンケートより ●五泉市 渡部さん

ミントの勢いは本当に驚くほどですよ。庭に植えるハーブでは、タイムもおすすめです。さまざまな種類があり、はうように広がります。やわらかく、さわやかな香りが魅力的です。

おたより募集!

「Green Sketch」では読者のみなさまから花や緑に関するおたよりを募集しています。字数は300字以内なら何字でも構いません。ご自慢のお写真の投稿も大歓迎!!住所、氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せください。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。また、原稿・写真の返却、採否のお答えはいたしませんのであらかじめご了承ください。

郵便 〒950-0933 新潟市清五郎58番地
(財)新潟県都市緑花センター 情報誌「読者の広場」係

FAX 025-257-8766

e-mail center@greenery-niigata.or.jp
(e-mailでのおたよりは添付形式にせずにお送りください。)

Report

ISO14001 平成17年度 活動報告

当センターでは平成16年12月にISO14001を認証取得し、「緑豊かな潤いのあるまちづくり」を進めるという基本理念に基づき、環境に配慮した事業活動を進めています。

平成17年度の目的・目標の達成状況は以下のとおりです。

目標を達成できたもの

- 電気使用量の削減
- 二酸化炭素の排出量の削減
- 公園内で発生する廃棄物(剪定枝、刈芝など)の再資源化
- 樹木の健全育成管理
- 助成事業による県内公共スペースの緑花の増進
- 緑花意識の向上のための情報誌、ホームページの充実
- 緑花・植物の技術・知識の向上のための教室などの開催
- 情報発信による地域の巨木・名木の保全
- 住民参加型活動の開催による公園利活用の促進

目標を達成できなかったもの

- コピー用紙使用量の削減(業務量増大によるコピー用紙使用量増)
- 樹木育成技術の普及(業務量が增大し、実施が遅れたもの)

この結果をふまえ、目標を達成できたものについては更に向上させ、目標を達成できなかったものについては改善を図り、今後も自然環境への負荷の少ない活動を行ってまいります。

「グリーンスケッチ」は、県民のみなさんとともに花と緑を育て、私たちが暮らすまちの中の緑を守り、さらに緑と花を増やしていくための情報誌です。都市緑化についてのご意見、みなさんのお住まいの地域にある自慢の花や緑の空間、花や緑の活動を行っている人や団体などの情報を緑花センターまでお寄せください。



何の実?

コブシ (モクレン科落葉高木) *Magnolia kobus*

春に咲くさわやかな白い花からは想像がつかない実をならせませす。

コブシという名の由来を調べると、「つぼみがこぶしに似るから」「実がこぶしに似るから」などの説がみられますが、この実を見てみると後者が有力でしょうか。ごつごつした果実(袋果)に、複数個の種子が入っています。この写真(9月撮影)よりさらに乾燥すると、袋果が裂け、赤い種子が白い糸で吊り下がります。

寄付のお願い

財団の公益事業は
基金の運用果実により行われます。

当センターは県・市町村及び県民のみなさまから頂いた寄付金より基金を造成しており、その基金を安全・確実な方法で運用した運用益(果実)により緑花の推進事業を行っています。

寄付のお問い合わせ先

(財)新潟県都市緑花センター 総務課宛
TEL025-257-8711

寄付者紹介

(平成18年4月～8月まで・敬称略)

- 社団法人 道路緑化保全協会
- 緑花募金

基金の設立・寄付金等にご協力いただいたみなさまに厚くお礼申し上げます

編集後記

これから季節は秋にむかいます。実り、収穫、散策、庭仕事…。いろいろな秋の楽しみを満喫しましょう。

来年度より、季節を先取りしてお届けできるように、今年度は発行月を調整しています。あらかじめご了承ください。次号(冬号)は、11月末発行予定です。

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などで配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡ください。



財団
法人

新潟県都市緑花センター



〒950-0933 新潟市清五郎58番地
TEL 025-257-8711
FAX 025-257-8766
E-mail center@greenery-niigata.or.jp
URL http://www.greenery-niigata.or.jp



登録範囲は、事務局、鳥屋野湖公園事務所、紫雲寺記念公園事務所、県立植物園です。

